

加東市事業仕分け2012 評価・判定結果

【事業仕分け委員】

事業番号	対 象 事 業 名	(1) 不 要	(2) 必 要 性 の 再 検 討	(3) 国 ・ 県 ・ 広 域	(4) 要 改 善	(5) 現 行 ど お り	備 考
1	福祉年金（ひとり親等）支給事業	5	1				
2	福祉年金（障害者）支給事業	3	3				◎
3	加東伝の助マラソン大会	1	4		1		
4	特定健康診査等事業（国民健康保険特別会計）				6		
5	就労支援室運営事業	5	1				
6	農作物等獣害防護対策事業			2	2	2	◎

※備考欄の「◎」は、事業仕分け委員による多数決が同数のため、コーディネーターの採決により評価を決定したことを示します。

【市民の評価】※参考

事業番号	対 象 事 業 名	(1) 不 要	(2) 必 要 性 の 再 検 討	(3) 国 ・ 県 ・ 広 域	(4) 要 改 善	(5) 現 行 ど お り	備 考
1	福祉年金（ひとり親等）支給事業						
2	福祉年金（障害者）支給事業		1		1		
3	加東伝の助マラソン大会				2		
4	特定健康診査等事業（国民健康保険特別会計）				1	2	
5	就労支援室運営事業	2	1				
6	農作物等獣害防護対策事業				1	2	

※「市民の評価」は、事業仕分け当日に会場にお越しいただいた市民による評価で、参考意見として取り扱います。

※この評価・判定結果が、市の最終判断ではありません。

⇒市では、この結果を踏まえ、市の対応方針を決定し、対象事業の見直しや予算編成に反映していきます。

1 事業仕分け委員の評価・判定結果の詳細

事業番号 対象事業 評価・判定区分	1	2	3	4	5	6
	福祉年金（ひとり親等）支給事業	福祉年金（障害者）支給事業	加東伝の助マラソン大会	特定健康診査等事業（国民健康保険特別会計）	就労支援室等運営事業	農作物等獣害防護対策事業
(1) 不要	5	3	1		5	
ア 手段が目的化している。	2	1			1	
イ 達成手段として不相当	3	3			2	
ウ 効果なし（薄い）、逆効果	2	1			4	
エ サービス受給者の自助努力、自己負担						
オ 行政の役割終了、民間実施（税投入の必要なし）			1			
カ 他事業との重複		1			2	
キ その他	1					
(2) 必要性の再検討	1	3	4		1	
ア 手段が目的化しているのではないか		1	1		1	
イ 達成手段として不相当なのではないか	1	2	1			
ウ 効果なし（薄い）、逆効果なのではないか						
エ サービス受給者の自助努力、自己負担なのではないか			1			
オ 行政の役割終了、民間実施（税投入の必要なし）すべきではないか			1			
カ 他事業との重複なのではないか						
キ その他						
(3) 国・県・広域						2
ア 規模が全国的						
イ 全国一律のサービスであるべき						
ウ 規模が広域的						1
エ 広域での一律のサービスであるべき						
オ 影響が広範囲						1
カ その他						
(4) 加東市要改善			1	6		2
ア 事業の手法、内容に改善の余地あり			1	4		1
イ 民間委託の実施、拡大すべき				2		
ウ 指定管理者制度を導入すべき						
エ 入札等における競争性を強化すべき				1		
オ 自主財源確保（受益者負担等）をすべき				1		
カ その他						
(5) 加東市現行どおり						2
ア 現状では見直しが困難						
イ 大幅な見直しは必要ない						1
ウ その他						

※評価・判定区分の大区分と小区分の評価数は、複数評価などのため一致しない場合があります。

2 事業仕分け委員等のコメント

事業名	①福祉年金（ひとり親等）支給事業	評価・判定	不 要
-----	------------------	-------	-----

【事業仕分け委員】

- 早期自立を促進する事業であれば、月 1,250 円（年 15,000 円）の支給より、他の事業に再構築する必要がある。
- 目的と成果の関係が全く不透明。選択と集中のもと自活、自立できる環境醸成につながる施策を
- 就労支援にシフトすることが、年 15,000 円に頼ることなく経済的に自立できる方法だと思う。職業教育、子育て支援の充実も検討。
- 今後、母子世帯の就労支援メニューを増やしていく必要がある。そのためには費用が必要となるので、この事業は廃止し自立支援にシフトする。手当については、児童扶養手当、生活保護等の制度で対応すべきである。保育や養育費における弁護士あっせんなどもあり得る。
- 他事業との連携を考えていく

事業名	②福祉年金（障害者）支給事業	評価・判定	不 要
-----	----------------	-------	-----

【事業仕分け委員】

- ニーズにあった障害者施策を再構築すべきである。
- 本質的な課題解決に集中すべき。何となく上乘せすることが経済的支援と短絡的に捉えることは、いかがなものか。
- “生活のしづらさ”の解消には、年金支給だけではないはず。障害を持つ人が生活しやすくなるような環境づくりにシフトすべき。もし、手帳取得を増やすのであれば、申請時 1 回限りにしてはどうか？
- 社会状況を正確に判断して、制度を組み立ててほしい。現金給付が必要なのか？自立支援などの給付サービスとも整理すべきである。
- 障害者の生活のしやすさ（バリアフリー化）等に、事業を方向転換してはと思う。

【市民の評価者】

- 現物支給だけでなく、施策全般での事業としての取組が必要と考えます。

事業名	③加東伝の助マラソン大会	評価・判定	必要性の再検討
-----	--------------	-------	---------

<p>【事業仕分け委員】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● マラソン大会参加者のターゲットが絞れていない。どの程度のマラソン大会にするか検討すべき。自主財源を確保し、補助金を減らす方向を考えるべき。 ● 目標は、加東市のPRなのか、市民・子どもたちの多くの参加による愛郷心の盛り上げなのか、明確にすべき。市内、事業者、自治会、企業の協賛をより熱く巻き込む努力が欠かせない。 ● ハーフマラソン、フルマラソンを新設することで、全国規模で集客効果がでるのでは？（近郊の大会と差別化が必要）旅行代理店とタイアップしてマラソンツアーを企画とか。協賛金は、現金でなくて物品協賛してもらってはどうか？参加料は、参加賞と同額にすべき。 ● マラソン大会だけで青少年の健全育成は無理である。また、市外PRというならば、他の部課と連携しないと難しい。目的の優先順位が明確ではない。 ● 市民の健康増進か市のPRが目的か、年々PRにかたよっているのではないか。景品は、加東市の商品で。 <p>【市民の評価者】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 全国的に有名な選手の招待及び西脇工業高校の出場もあり、小・中学生の走ることに對する動機付けになっていると思う。この大会の広報活動を強化する必要がある。 			
---	--	--	--

事業名	④特定健康診査等事業（国民健康保険特別会計）	評価・判定	要改善
-----	------------------------	-------	-----

<p>【事業仕分け委員】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 受診率を上げるための方策を検討するため、受診していない人の状況を明確に把握すべきである。 ● 受診料を無料化しても、受診率が大幅に上がる見込みはない。受診率の高い自治体の例等を参考に、再考すべき。 ● コスト負担を減らすように、集団健診の契約を入札にするなど、工夫を（がん検診のセット、夜間・休日の実施など）。現行の4～5月は忙しい人が多く、受診機会がなくなるのでは？受診率が低いことによるデメリットを、市民にきちんと伝える必要あり。 ● JA以外に集団健診を入れられないか？入札、見積あわせ。受診率が一定ならば、コスト削減に努める必要がある。 ● 集団健診を受けなかった人のため、医療機関での個別健診の機会や受けやすい方法・手段を考えてはどうか。 <p>【市民の評価者】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 必要性の高い事業であり、現行どおりとしたい。 			
--	--	--	--

事業名	⑤就労支援室運営事業	評価・判定	不 要
-----	------------	-------	-----

<p>【事業仕分け委員】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 就労支援の重要性は認めるが、ニーズに対応しきれていない。目的を明確にして、ゼロベースで考えるべき。 ● 餅は、餅屋にきっちり任せるべき。ハローワークに足を運べない人達を、何とかして就労させたいことがメインであるなら、福祉部局との連携こそ効果的。商工会に委託すべき事業ではない。 ● 福祉部局の相談員の活用。訪問者（利用者）のフォローの徹底 ● 就労支援なのか、企業経営支援なのか不明。相談件数が少ない。後追いができないということはない。できます。就労支援効果がない。ターゲットを明確にして、福祉部局との連携を密にしたほうが良い。 ● 目標を明確に。商工会ではなく市直営で。福祉部局との連携 <p>【市民の評価者】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 商工会と就労支援室の関係がはっきりしない。成果についても具体的に見えてこない。 			
---	--	--	--

事業名	⑥農作物等獣害防護対策事業	評価・判定	現行どおり
-----	---------------	-------	-------

<p>【事業仕分け委員】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 獣害は、市域を越えて被害が出るので、近隣市町と連携を深めて進めるべきである。事業量については、全体計画を明確にして進めるべき。 ● 必要箇所に対する地域要望は、徹底して前倒し対応できるようにすべき。 ● 獣の行動範囲に市域は関係ないので、市レベルではなく広域で対応したほうが効果的。住民の労力提供が前提なので、早期にすべて実施すべき。（高齢化など） ● 国・県補助も効果的に活用すべき。管理等運営を自治会で担当するように見直し。 <p>【市民の評価者】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 必要性のある事業である。 			
---	--	--	--